

## QUESTORY'S MESSAGE

## 独自性は「立ち位置」です



## 静かに浸透しつつある経営環境の劇的な変化

これまで3回に渡り、独自性の発見と創造のために、「想像力」「勇気」「強み」という3つの提言をしてきました。なぜこれほどまでに独自性を取り上げるかといいますと、市場がこれまでの状況とは様変わりをし、あいまいな経営や顔のはっきりとしない営業は、成熟した消費者に見向きもされなくなっているからです。当然、先行きは極めて不透明です。

現在の厳しい経営環境を一時的な景気の問題としてとらえることは、物事の一面からの判断でしかありません。成熟した消費の価値観、ITによる膨大な情報量、グローバルな市場経済等は、経営のあり方を大きく変えてしまいました。みんなと同じ方向に向かい、一生懸命努力をすれば、結果がついてくる時代ではないのです。

“大げさなことを言う”とお思いかもかもしれませんが、これまでと同じやり方を踏襲するだけでは中小企業は生き残れないのです。気がつかないうちに、大きな変革の波に飲み込まれてしまいます。その荒海に飲み込まれないための羅針盤が「独自性」です。前置きが少々長くなりましたが、今回のテーマである「独自性は立ち位置です」に入りましょう。

## 立ち位置を明確にすれば、独自性が見えてくる

「立ち位置」を明確にすると、独自性が見えてきます。「立ち位置」の明確化の手法は次の通りです。まずは自社と競合する相手をリストアップしてください。競合先と言いますと、一般的には、小売業であれば同一商圏内のライバル店やメーカーであれば同じ商品を取り扱っている会社ということになります。

しかし、いまは同一商圏内の同業者だけが競合相手ではありません。交通網の整備は、近場だけではなく距離を越えた競合を生み出しています。例えば、新潟駅から東京駅までは上越新幹線を使えばおよそ2時間半。新潟の方々にとって、東京は買物のエリアなのです。それだけではなく、ちょっと足を伸ばせば香港やソウルなども選択肢に入ります。

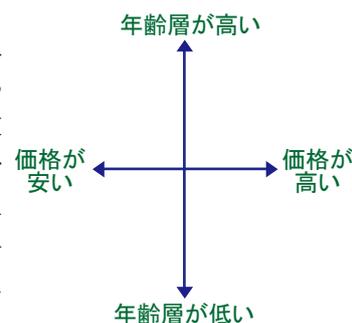
また購入のチャネルも多様化しています。インターネットやTVショッピングなどの通販もあなたの競合なのです。消費者心理から見なければわかりにくい競争もあります。使えるお金が限られているいま、消費者は自分にとって価値あるものをシビアに選択します。例えば、ジュエリー(モノ)と海外旅行(コト)のどちらに使うべきかという選択なのです。

## 立ち位置を教えてくれるポジショニングマップ

競合相手がリストアップ出来たら、その相手の強みを書き出してください。難しく考える必要はありません。消費者目線から見たあなたの感覚でいいのです。価格、利便性、品揃え、販売体制、ブランド力、歴史、客層………ひとつでなくても構いませんので、思いつくまま書き出してください。あなたが感じたことが正しいのですから………。

次にやっていただくのは、ポジショニングの軸の設定です。自社も含めて競合相手を評価、区別するための軸です。例えば、下の図は、水平の軸を価格にしてあります。右に行けば価格が高い、左に行けば安いという軸です。垂直の軸はお客様の年齢層です。上に行けば年齢層が高い、下に行けば年齢層が低いということになります。

このポジショニングの軸は取扱商品や業態によって様々なものが考えられます。ひとつだけではなく、いろいろな軸を作ってみてください。交差するふたつの軸から4つの窓を持つポジショニングマップが出来上がります。あなたの会社と競合相手をこのポジションマップに書き込むことにより、立ち位置が見えてきます。



## ポジショニングマップから発見する新たなチャンス

出来上がったポジショニングマップをじっくりと見てください。ひとつの気づきはあなたの会社ともしぶつかる相手はどこかということなのです。いうなればガチンコ勝負の相手ですね。この「立ち位置」で勝負するには、当然相手を上回らなければ勝てません。相手よりも勝る部分をさらに強化し、圧倒的に有利に立つことが勝負のシナリオです。

さらにポジショニングマップから発見出来るのは、競争が少ないか、あるいはまったくない「立ち位置」です。いうなれば、独自性が存分に発揮出来る「立ち位置」ですね。もちろん、そこには誰もが手を出しにくい理由があるはずですが。“その課題をどうしたら解決出来るか”と考え、実行することからビジネスチャンスは広がります。

今週のウォッチングで取り上げた「ダイシン百貨店」は、“半径500m、シェア100%主義”に徹することで、再生のきっかけを見出しました。先週紹介した「青山フラワーマーケット」は、“毎日の生活に花を”をコンセプトにし、いままでなかった新しい花屋さんのビジネスモデルを創り上げたのです。あなたの「立ち位置」はどこですか？

※「ポジショニングマップ」作りのコンサルティングを行っています。  
詳しくは弊社までお問い合わせください。